

本村小学校 だより

第1月号



発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

心の奥が燃えなければ戦えない

校長 山村 登洋

新年の「挨拶

この短歌を思い出してしまいました。

自己肯定感の倍増

今月の「自己肯定感言葉」

「夢見ることができれば、それは実現できる」ウォルト・ディズニ-

新年明けましておめでとうございます。平成最後となる新年を迎えました。改めて旧年中は、保護者、地域の皆様方のご協力・ご支援に感謝申し上げます。

「何となく、今年はいい事あるごとし。元旦の朝、晴れて風の朝、晴れて風

さて、学校では、引き続き本校の教育スローガンである「子供の自己肯定感を倍増させる学校」に取り組みまいります。学習はもちろんのこと、学校生活や友人関係、運動、趣味など多義にわたって子供たちの自己肯定感を伸ばしていきます。2学期後半よりあいさつ運動に取り組み、その結果、子供たちのあいさつが素晴らしくなりました。



私も校門での朝のあいさつが楽しみでした。ありがとうございます。どの子どもも見て、笑顔であいさつをしてくれそうです。会釈をしてくれる子もたいへん増えました。廊下や階段ですれ違った時も「こんにちは」と言葉を交わしてくれる子もたくさんいます。そのような様子を見て、保護者、地域の皆様方が子供たちを褒めていただくことで、さらに子供たち個々の自己肯定感が自然と高まっていると感じています。本当にありがとうございます。

「北島康介」選手の名言

以前、あるテレビ番組でオリンピック金メダリストの北島康介選手の特集を観ました。その中で北島選手は「心の奥が燃えなければ戦えない」と



北島康介

「何がしたいかわからない」「好きなこと」を

「何がしたいかわからない」「好きなこと」を

「自己肯定感が高まる時は!？」

子供が自己肯定感が高まる時はどんな時か調べてみました。ベスト3は以下の通りです。

- 第1位 褒められた時
 - 第2位 できなかったことができるようになった時
 - 第3位 何かの取組が成功したり上手にいった時
- 「誉められた時」は不動の1位であることは当然ですね。しかし、褒め方には2種類あるのは知っていますか。「条件ほめ」と「無条件ほめ」です。「条件ほめ」は何かできたときに「運動会で1位よかったね」「上手に絵が描けたね」これだけでは足りません。「無条件ほめ」の「あなたのことが好きだよ」「いっしょにいてくれてありがとう」のような、なにか特別なことがなくても褒めていくことがとても大切です。

若者が多い中、「心の奥が燃えなければ戦えない」と語った北島選手の言葉は人の心を大きく動かす名言ではないでしょうか。

本村小では、自己肯定感を高めながら子供たちに「心の奥を燃やすようなこと」を一つでも二つでも見付けさせていきたいと思えます。

子供一人一人が確実な一歩、成長が感じられるように教職員一同、誠心誠意努力してまいります。今年もどうぞよろしくお願いたします。